



あなたと博物館

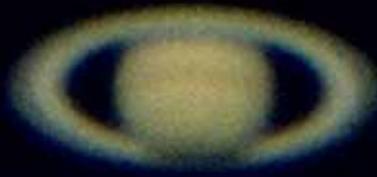
HIRATSUKA CITY MUSEUM

2024. 12 月号

プラネタリウム一般投影 冬の投影テーマ

『2025年の天文現象』

☆≡ 12月7日(土)～1月26日(日)



1988年7月6日



1990年8月30日



1993年10月28日



1994年11月9日



1995年8月10日



1997年10月16日

土星の輪の消失

土星の輪は数百 m の厚さしかありません。来年は 15 年に一度、地球から環を真横から見る年で、見かけ上環が消えてしまいます。



しぶんぎ座流星群

(1/4 明け方)

流星群は放射点が高く昇るときに、流れる数のピークや細い月と重なると好条件です。しぶんぎ群がオススメ!

毎年恒例の、1 年間の天文現象を紹介する番組です。2025 年に見られる主な天文現象を、プラネタリウムのシミュレーション機能を使って、ドームに再現いたします。ここに載せている現象以外にも、火星の接近や星食など、来年は盛りだくさんの予定です。お楽しみに!

投影日: 12月7日(土) から1月26日(日)までの

土曜日 午後2時～

日曜日 午前11時～、午後2時～



皆既月食 (9/8 明け方)

久しぶりの皆既月食です。深夜から明け方にはなりますが、皆既の始めから終わりまでをじっくり観察できます。晴れるといいな!

令和6年度秋期特別展

うち

お家をまわる子育て地蔵 開催中!

好評の秋期特別展「お家^{うち}をまわる子育て地蔵」も、12月22日(日)までとなりました。

かつて平塚市内の家を回っていた子育て地蔵を展示しています。また、地域で結成されていた講で使用していた掛軸や、徳本上人由来の大会念仏の祭壇を再現した展示もあります。

この機会にぜひご覧ください! 展示解説会も行います!

★展示解説会(場所: 特別展示室)

■日時: 12月15日(日) 午後1時30分~2時30分

※自由参加ですので、時間までに特別展示室にお越しください。



12月22日
(日)まで

◀平塚市片岡の回り地蔵

寄贈品コーナー展示

火星が近づく

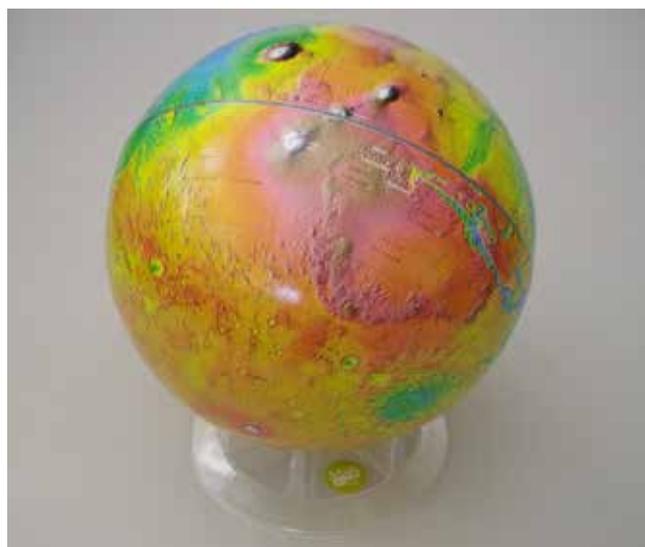
会期: 12月19日(木)~2月2日(日)

2025年1月12日、2年2か月ぶりに火星と地球が近づきます。最接近距離は9,600万km……いわゆる“小接近”ではあるものの、すでに夜半の空に火星が明るく輝き見頃を迎えています。

火星といえば、地球外生命存在の可能性が残されている惑星のひとつ。1970年代からさかんに探査機が送られ続け、今なお新しい発見が続いています。本展では、火星のキホンから、探査機が捉えた火星の風景、最新の火星探査の成果の一端をご紹介します。

当館所蔵の火星儀▶

探査機マーズ・グローバル・サーベイヤーが測定した火星の標高別に色分けしたもの。



ろばたばなし

博物館1階の古民家の座敷で、語り手が平塚に伝わる話を含めた昔話などをお話します。

■日時: 12月15日(日)

午後3時15分~3時45分

■場所: 博物館1階 相模の家

■備考: 開始時間までに相模の家にお越しください。



▲ろばたばなしの様子

★12月のプラネタリウム★

★幼児向け投影:すいせいゴエモンのぼうけん

ゴエモンは彗星の子ども。太陽から遠くはなれた“オールトの雲”から太陽にむけて旅に出ます。太陽に近づくとゴエモンの姿が……!?みんなでゴエモンを応援しよう!

12月28日(土)が
いよいよ千秋楽!



■投影日:

12月28日(土)までの 土曜日 午前11時~

☆一般向け投影:2025年の天文現象

詳細は表紙をご覧ください!

12月		月	火	水	木	金	土	日
								1
11時								☆
14時								☆
15時30分								◆
	2	3	4	5	6	7	8	
11時						★	☆	
14時						☆	☆	
	9	10	11	12	13	14	15	
11時						★	☆	
14時						☆	☆	
	16	17	18	19	20	21	22	
11時						★	☆	
14時						☆	☆	
	23	24	25	26	27	28	29	
11時			☆	☆		★		
14時			☆	☆		☆		

☆:一般向け投影 ★:幼児向け投影 ◆:特別投影

- ・定員:70人/自由席
- ・投影日時:上記の表を参照(投影は午前11時~と午後2時~/特別投影は午後3時30分~) 各回50分間
- ・観覧料:200円(18歳未満65歳以上の方は無料/65歳以上の方は年齢を確認できるものをご用意ください)
午前11時の回、午後2時の回、特別投影の**整理券を当日午前9時から受付で配布**(代表者のみでも可、5枚まで)
午前11時の回は午前10時15分から、午後2時の回と特別投影(午後3時30分の回)は午後1時15分から観覧券を販売。
- ・観覧者全員が揃ってから観覧券をお求めのうえ、投影開始15分前までに3階のプラネタリウム室にお越しください。
- ・番組の内容は急遽変更になる場合があります。 ・投影開始後のご入場、途中退出はできません。

星を見る会 「4つの惑星を見よう」

この冬は惑星シーズン!木星や土星といった定番の惑星に加え、地球に接近したばかりの火星も見ることができます。天王星や海王星も見られそう!普段は見る事ができない惑星たちの姿を堪能しましょう。

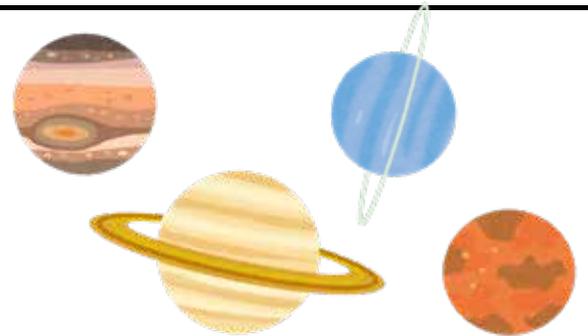
■日時:1月17日(金) 午後7時~8時30分(雨天曇天中止)

■場所:博物館屋上 ■定員:80人(応募多数時は市内在住者を優先し抽選)

■申込:往復はがき(行事名・氏名・住所・電話番号を記入、1通につき4人まで)

または、博物館ホームページのWebフォームから申込(右記のQRコードもご利用ください)

■締切:往復はがき:12月20日(金)当日消印有効 / Webフォーム:12月22日(日)



第3回 月面衝突閃光観測キャンペーンを実施します

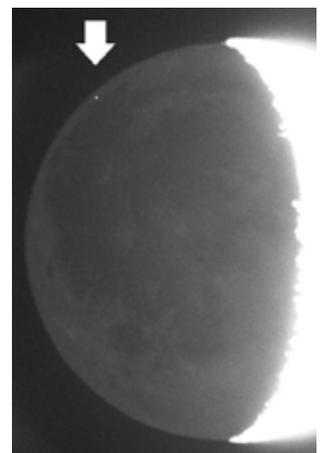
月面衝突閃光とは、月面に隕石が衝突する際に見られる、一瞬の発光現象です。明るい閃光であれば小型の望遠鏡でも観測することが可能で、複数地点からの協働観測が有効です。1月始めは、しぶんぎ座流星群に由来する月面衝突閃光の観測条件が良く、閃光の出現が期待されます。当館のワーキンググループ「流星観察会」では、月面衝突閃光を協働で観測する、市民参加型のキャンペーンを展開し、観測データを募集します。

■キャンペーン期間:1月2日(木) 夕方~4日(土) 夕方

■観測の方法:月の夜側全体を望遠鏡やレンズ、カメラで連続撮影

■参加の対象:月の夜側を連続的に撮影できる方(スマート望遠鏡も可)

■ホームページ:https://www.hirahaku.jp/kyoushitsu_circle/club/meteor/lif/index.html



▲11/7の月面衝突閃光

